

第四次明日香村整備計画の進捗状況について

明日香村整備基本方針・整備計画の経緯

明日香村整備基本方針

(S55)

[整備等の方向]

- ・生活環境施設の整備
- ・農林業の振興、農村環境の整備
- ・遺跡の調査、史跡の整備等

明日香村整備基本方針

(H2改定)

[整備等の方向]

- ・生活環境施設の整備
- ・農林業の振興、農村環境の整備
- ・遺跡の調査、史跡の整備等

明日香村整備基本方針

(H12改定)

[整備等の方向]

- ・歴史的風土の創造的活用
- ・農林業基盤整備等の充実
- ・農商工にわたる総合的な施策展開
- ・生活環境の整備の推進
- ・遺跡調査等の推進

明日香村整備基本方針

(H22改定)

[整備等の方向]

- ・歴史展示の推進
- ・歴史的風土の維持・向上
- ・歴史的風土等を活用した地域活力の向上
- ・生活環境基盤整備の推進

第1次整備計画 (S55～H1)

[計画の基本的方向]

生活環境、産業基盤等を総合的に整備し、農林業を主体とした“歴史と文化のむらづくり”をめざす。



小学校の整備



給食センターの整備

第2次整備計画 (H2～H11)

[計画の基本的方向]

- 『歴史的風土を活かした村づくり』
- ・農林業等の産業振興
- 『健康で住みよい村づくり』
- ・保険・医療・福祉体制の充実



飛鳥川の護岸整備



幼稚園の整備

第3次整備計画 (H12～H21)

[計画の基本的方向]

- ・地域産業の振興などの地域活性化
- ・明日香村の歴史的風土を創造的に維持保全活用



農産物直売所の整備



万葉文化館の整備

第4次整備計画 (H22～H31)

[計画の基本的方向]

- ・景観形成等による明日香の魅力の向上
- ・歴史的風土を活かした観光・交流振興や地域活力の向上



飛鳥京跡苑池の整備



オーナー制度の推進

明日香村整備基本方針及び第4次整備計画

明日香村整備基本方針

1 明日香村における生活環境及び産業基盤の整備等に関する計画作成の意義

2 計画の期間

3 計画の基本的方向

1. 歴史的文化的遺産の保存・継承と利活用 の推進

2. 歴史的風土にふさわしい景観の維持・向上

3. 歴史的風土を活用した地域活力の向上

4. 生活環境及び産業基盤整備等の推進

第4次明日香村整備計画

I 計画作成の意義

II 計画の性格等

III 村の概況

IV 整備計画

1. 国家基盤が形成された地に相応しい歴史展示の推進

2. 歴史的風土の維持・向上

3. 歴史展示及び歴史的風土を活用した地域活力の向上
 i. 明日香を支える「農」の維持・再生
 ii. 観光・交流の振興
 iii. 住みたくなる村づくり

4. 生活環境基盤整備の推進

V 計画達成のための留意事項

VI 計画達成のための推進体制

1. 国家基盤が形成された地に相応しい歴史展示の推進

飛鳥京苑地の整備や埋蔵文化財の発掘調査等が着実に進められ、高松塚古墳壁画の修理作業も平成31年度終了予定であり、文化庁において公開展示手法の検討が進めている。

【飛鳥京跡苑池】

全体の88%を公有地化

H26年度より史跡整備の着工開始

H28.4にメインエントランスの供用を開始(県事業)



メインエントランス部の整備

【高松塚古墳壁画】

壁画の修理作業はH31年度完了予定

今後の保存・公開展示に関して文化庁が検討中



高松塚古墳壁画



壁画修理作業の様子

【飛鳥宮跡】

「飛鳥宮跡活用基本構想(H29)」を策定(県事業)

【遺跡の発掘調査】

計画的な発掘調査の実施 (飛鳥西方遺跡、御園遺跡等)
(村事業)

【様々な手法を活用した歴史展示】

携帯端末を活用した歴史展示コンテンツ

(飛鳥京歴史ぶらりアプリ)の制作・普及(県事業)

CG映像による復元、DVD副読本の配布

(村事業/交付金活用)



CG映像による復元



飛鳥京歴史ぶらりアプリ



発掘調査の様子

2. 歴史的風土の維持・向上

- ・地域住民を中心として、ボランティアや大学等の民間団体と連携して、明日香にふさわしい景観の維持形成を図っている。
- ・景観阻害物件の除却や建築物の修景、古都法に基づく土地の買入れ等も継続的に取組み、歴史的風土の向上を図っている。

【地域住民等による歴史的風土の保全】

- ・地域住民を中心とした清掃美化・啓発活動への支援(村事業)
- ・ボランティアによる里山・竹林・河川・古道・農地等の整備
(景観ボランティア、関西大学、景観づくり協議会等)(村事業)



景観ボランティアによる整備活動



企業のCSR活動

【景観阻害要因の改善】

- ・長年の懸案であった景観阻害物件のコンクリートプラントを除却
(県事業)
- ・建築物等の修景補助(村事業)



整備前



整備後

【古都保存法に基づく土地の買入れと管理】

- ・買入地約68ha(H29年度末)(県事業)
- ・年2回の草刈り等の維持管理のほか、
一部は行政財産使用許可により地元が管理(県事業)



買入れ地(農地)の管理



建築物の修景

3. 歴史展示及び歴史的風土を活用した地域活力の向上

明日香村の歴史的風土の重要な構成要素となっている田園景観の維持・再生及び地域活力の観点から、農林業等の振興を図るため、各種取組を継続的に推進している。

I) 明日香を支える「農」の維持・向上

【農業基盤整備】

- ・ほ場や農業用道路・水路の整備、鳥獣害防止柵の設置等（県事業）



ほ場整備



鳥獣害防止柵の設置

【耕作放棄地への対応】

- ・オーナー制度の運営、情報誌発行（村事業/交付金活用）



各種オーナー制度の運営



【農業の高度化】

- ・農商工観連携拠点「明日香夢の旬菜館」H25.7月オープン（村事業）
- ・特産品開発支援、飛鳥ブランドのPR等（村事業/交付金活用）



明日香夢の旬菜館



飛鳥ブランドのPR

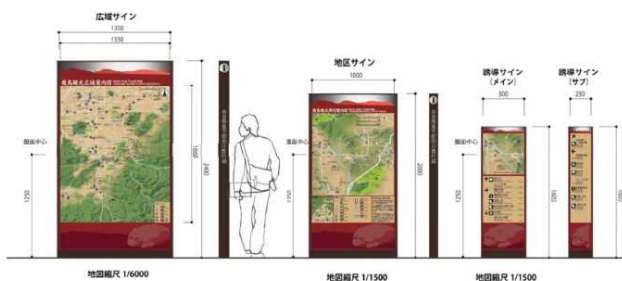
3. 歴史展示及び歴史的風土を活用した地域活力の向上

明日香村の貴重かつ魅力的な資源である歴史文化を活用した観光や都市部との交流の振興を図るため、観光基盤の整備や体験型民家ステイの推進等を進めている。

II) 観光・交流の振興

【案内サイン等の整備】

- ・あすかナビの開発(交付金事業)(村事業)
- ・橿原市等の周辺自治体とも連携して、飛鳥観光案内サイン整備計画の策定(H26年度)
→H30年度時点:計81基設置、19基修繕(国・県・村事業)



飛鳥観光案内サインの基本デザイン



図解標識の設置

【観光基盤の整備】

- ・県道 野口平田線 全体事業 区間をすべて供用(県事業)
- ・かめバスの運行(交付金事業)(村事業)
- ・にぎわいの街(岡地区)の無電柱化の推進(村事業)



かめバスの運行



無電柱化整備後(岡地区)

【明日香らしい宿泊型観光の推進】

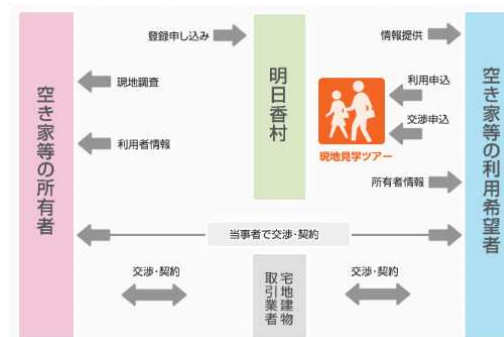
- ・体験型民家ステイの推進(村事業)



体験型民家ステイ

III) 住みたくなる村づくり

- ・空き家バンクシステムの運営(H29年度時点:29件成立)(村事業)
- ・MICHIMOやゲストハウス等の起業支援(県・村事業)



空き家バンクシステムの運営



MICHIMOの運用

4. 生活環境基盤整備の推進

歴史的風土の保存と住民生活の調和を図ったインフラ整備を着実に実施してきている。

【道路の整備】

- ・ネットワーク道路の改修(村事業)



ネットワーク道路の改修

【河川の整備】

- ・飛鳥川の遊水部2箇所が整備完了(県事業)
- ・平田川の護岸詳細設計等が完了(県事業)



飛鳥川神奈備の郷・川づくり事業

【上水道、下水道の整備】

- ・特定環境保全公共下水道の事業認可の約74%が整備済(村事業)
- ・宿泊施設等企业誘致に向けて、必要となる安定的なライフラインを確保(県事業)

【消防施設等の整備】

- ・防火水槽を4箇所設置(村事業)
- ・防災行政無線のデジタル化(H26)(村事業)

【都市公園の整備】

- ・公園施設の供用(平成25年度11月)(村事業)



明日香村近隣公園